

カレニア・セリフォルミス (Karenia selliformis) の危険度基準

	1.注意	2.嚴重注意	3.各種対策実践	
細胞密度 (cells/ml)	<u>(0.001)</u> <u>~1</u>	<u>1~</u> <u>100</u>	<u>100~</u> <u>1000</u>	<u>1000<</u>
漁業被害 リスク	無	無 (少)	有	有
生物 有害性	低	低	へい死率>90% ：シロサケ稚魚、 ツブ へい死率>50% ：エゾアワビ 衰弱・付着弱化 ：エゾバフンウニ	へい死率>90% ：シロサケ稚魚、 ツブ、エゾアワビ、 エゾバフンウニ、 ヤナギダコ へい死率>50% ：マナマコ、マガ キ、ホタテガイ

※ホツカイエビやハナサキガニの顕著なへい死は確認されていない

(生物有害性 (へい死率等) は、令和3年度北海道赤潮対策緊急支援事業における暴露試験の結果によるもの)